



日造協ニュース

2013 7.10
第472号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012



通常総会の冒頭、あいさつする藤巻司郎会長

平成25年度 通常総会を開催

日造協は6月24日(月)、東京都千代田区半蔵門のグランドアーク半蔵門で、平成25年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、国土交通省からの情報提供(2面)をはじめ、各種表彰(2面)を行った。議事では、「平成24年度決算報告について」、承認。報告事項と「重点実践活動2013決議」を採択した。総会後は、「高齢化社会における公園のあり方について」をテーマに講演会を実施(3面)、その後、多数の参加者を得て、意見交換会を開催した。

総会は冒頭、藤巻司郎会長があいさつ(別掲)、来賓紹介の後、舟引敏明国土交通省公園緑地・景観課長が「公園緑地・景観行政をめぐる最近の話題」をテーマに、情報提供を行った。

その後、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰として、49名の方々を表彰、藤巻会長が表彰状と記念品の授与を行った。

議事では、平成24年度決算報告について、事務局が報告を行い、監事を代表し、北田功氏が、法人の損益並びに財産の状況、法令・定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していることを認めると監査報告。満場一致で承認された。

報告事項は、(1)平成24年度公益目的支出計画実施報告書について、(2)平成24年度事業報告について、(3)平成25年度事業計画について、(4)平成25年度収支予算について、事務局が概要を説明。

活動報告事項として、総務委員会からは、阪上清之介社会保険未加入対策部会長が、社会保険未加入対策部会のミッションについて紹介。平成25年度は周知・啓発重点期間であり、社会保険等未加入対策講習会を開催するなど、社会保険等の加入促進、法定福利費の内訳を明示する標準見積書の活用による法定福利費の確保等の周知・徹底を図り、社会保険等加入促進、若年入職者の確保につなげていきたいとした。

技術委員会からは、伊藤幸男技術情報・研修部会長が、造園技術・技能の研究開発や自然及び生活環境の整備技術、安全に関する事項などに取り組み、「技術情報共有発表会」を毎年全国都市緑化フェア開催県で実施していると、鳥取県で10月に開催する発表会への参加を呼び掛けた。

事業委員会からは、鈴木一彦要望・提言活動部会長が、都市や地域の緑の再生



左から阪上清之介、伊藤幸男、鈴木一彦部会長

と構築、公益活動の戦略・企画の立案、研修・教育、表彰・顕彰、造園緑化事業の拡大推進のための要望等に関する事項に取り組み、これらを踏まえた「平成25年度 要望提言活動方針」と「要望・提言活動の重点項目」について解説。国道の維持管理工事等の造園発注、自然環境共生工事、日造協資格制度の活用、労務費調査の適正化、業種区分の見直し、災害に対する会員企業の保有する機材・資材の活用提言、社会保険未加入対策対応の要望をしていくとした。

決議事項では、「重点実践活動2013決議」(案)について、林輝幸総務委員長が説明。これまでのスローガン「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」を継続し、新たな重点実践活動テーマとして、6つの重点実践活動テーマを採択した。

造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ 重点実践活動2013

- 造園力による震災復興と安全・安心な国土・都市・地域づくり
- 造園力を支える人の雇用環境の改善・向上
- 造園力を発揮しうる機会拡大の要望・提言
- 造園力を発揮できる優れた技術者・技能者の育成
- 造園力の拡大にむけた調査研究、技術情報の共有化
- 企業の社会的責任の実践

2面【通常総会 情報提供】「公園緑地・景観行政をめぐる最近の動向」

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長 舟引敏明氏

協会表彰 49名を讃える造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰

3面【通常総会 講演】「高齢社会における公園のあり方について」

(一社)日本公園緑地協会 調査研究部長 靈山明夫氏

【学会の目・眼・芽】「景を写す」と「系を写す」、そして「計を画く」

(公社)日本造園学会幹事・日本大学生物資源科学部准教授 大澤啓志氏

4面【ふるさと自慢】北海道 今が旬！自給率200%の北海道へぜひ

港町「函館」はイカ。一番旬な肉厚の真イカ

高瀬 勝彦氏 (高瀬環境緑化株)

【緑滴】「瀬戸内国際芸術祭2013 “アートと島を巡る瀬戸内の四季”」

古谷 敏弘氏 (株山地宝松園)

樹林

一般社団法人 日本造園建設業協会 会長

藤巻司郎



造園建設業の社会的認知度向上 に向けて要望・提言活動などを推進

当協会は昨年4月に一般社団法人に移行しましたが、早いもので1年が経過しました。

この間、私共が培ってきた「造園力」を発揮できる環境の整備、緑豊かな安全・安心で快適な環境の形成に向けて、本部と各総支部・支部との連携の強化を図りながら、造園力の社会的アピール、街路樹剪定士などの資格制度、社会保険未加入対策、東日本大震災の復興事業における造園工事発注の促進等の要望・提言活動などに取り組んでまいりました。会員の皆さんをはじめ多くの方々からの多大なご協力、ご支援を賜り、円滑な事業展開ができました。心から感謝と御礼を申し上げます。

新たな政治体制がスタートし、大胆な金融緩和や大規模な財政出動、経済成長戦略など「アベノミクス」により、景気回復への明るい兆しが見られるようになりました。

先行きには、依然として不透明な状況も見られますが、これまで粘り強く要望・提言活動を行ってきた公共工事の造園工の労務単価の引上げが、この4月か

ら、直轄工事におけるダンピング対策の強化が、この5月から講じられました。引き続き雇用環境、経営環境の改善に寄与する手立ての実施を求めて行くことが重要と考えております。

このような中、今年度の事業計画では、後ほどご報告いたしますが、造園建設業の社会的認知度向上に向けて、要望・提言活動や社会保険等未加入対策等に取り組んでまいります。

本日は、平成24年度決算報告の審議や平成24年度事業報告、平成25年度事業計画等の報告、部会活動報告の後「重点実践活動2013決議」を決議いただく予定です。

それに先立ち、造園建設業界の発展に多大な功績をあげられた49名の方々が表彰を受けられます。受賞されます皆様の永年にわたるご労苦とご功績に対しまして敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

皆様方には、これからも一層のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(通常総会会長あいさつより抜粋)



田中静雄鳥取県支部長 内山晴芳静岡県支部長



舟引敏明課長 亀澤玲治課長

最後に、お知らせとして、「第30回全国都市緑化とつりフェア」(9/21-11/10)について、田中静雄鳥取県支部長が、日本一広い池で風光明媚な湖山池公園を主会場にジオパーク地域で初めてのフェアになる。ジオパークは、地球科学的に重要な自然の遺産を含む自然に親しむための公園で、鳥取砂丘の砂と植物など見どころ一杯、ぜひ来場をと紹介。

「第31回全国都市緑化とつりフェア」について、内山晴芳静岡県支部長が、日本で3番目の国際園芸博覧会会場を再整備した浜名湖ガーデンパークとはまつフラワーパークで、園芸博から10年を記念し、改めて花と緑の大切さを発信したいと、今後の協力を呼び掛けた。

講演会・意見交換会も盛況

総会後は、講演会を開催。靈山明夫(一社)日本公園緑地協会調査研究部長が、「高齢化社会における公園のあり方について」をテーマに講演した。

午後6時からは、多数の参加者を得て、意見交換会を開催した。冒頭、主催者を代表して、藤巻司郎会長があいさつ。ご来賓の舟引敏明国土交通省公園緑地・景観課長、亀澤玲治環境省自然環境計画課長からご祝辞をいただいた。

舟引課長は、「公園のストックをどう管理していくかが課題だが、民営化の方向にあり、皆さんのお仕事につながって

いく。国民の方々に公園の価値、造園の役割を理解していただくことが重要で、国としても積極的に取り組んでいく」とし、亀澤課長は、「三陸復興国立公園等復興事業として、東北海岸トレイルの整備に取り組むほか、富士山の世界遺産指定に伴い、国立公園内の富士山を眺望できる展望台やトイレの改修・整備を進めしていくが、皆さんの知見、技術が不可欠。今後ともご協力いただきたい」と述べた。

その後、丸田頼一(一社)日本公園緑地協会会長が、「かねてから予算の10%を公園緑地にと求めしてきた。必要な社会資本であり、これからもその必要性を呼び掛けたい」と述べ、乾杯を発声、意見交換の場となった。

締めは、佐々木吉和副会長が、「小川治兵衛が不動産価値を高め、小堀遠州が茶道でサービスを究め、夢窓疎石が哲学を示した。私たちは思想から不動産まで、あらゆるサービスを提供し、現在、暮らしの中でビタミン的な存在となっている造園をメインディッシュにしたい」と今後を展望。三本締めを行い、散会となった。



丸田頼一公園緑地協会会長



佐々木吉和副会長

公園緑地・景観行政をめぐる最近の話題

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課長 舟引 敏明氏

本日、貴重なお時間をいただき、できるだけ私たちの仕事を多くの方々にご理解いただき、ご協力をいただきたいという趣旨で、「公園緑地・景観行政をめぐる最近の話題」について、ご説明いたします。

予算はピーク時の4分の1に

都市公園整備事業の予算は、国と地方公共団体を含めて、平成7年には1兆2,600億円ありました。現在は推計約3,000億円で、国費も半減していますが、大きく減っているのは地方公共団体の財源です。

公共事業そのものが問題視されるとともに、公共団体の財政が悪くなっているという現状であることをご認識いただきたいと思います。

国の財政で言いますと、国債発行額がすでに約1,000兆円になっているので、にわかに財政が好転するとは望みがたいところです。一方、昨年度末の補正予算が措置され、手続き等が進み、そろそろ動き出すのではないかと思っています。

したがって、経済の活性化が進められ、公共事業が動き出すのはこれからになります。

国営公園について、一昨年は震災の影響もあり、入園者数が落ち込みましたが、昨年度末までに約3,361haを供用し、昨年度は過去最高の約3,429万人が入園し、回復していると言えます。

国営公園を含め、都市公園は約12万haで、30数年前と比べると約4倍になっ



公園面積は年々増加。整備費は平成7年をピークに減少

(日造協 通常総会 国交省からの情報提供より)

民間による維持管理業務の展開

こうした中、ストックの維持管理が課題です。国営公園については、民間事業者参入促進のため、平成23年度に5公園で、総合評価方式一般競争入札を実施し、平成24年度から民間による維持管理業務が行われ、皆様方、造園建設に関わる事業者の方々にご協力いただいており、御礼を申し上げます。

次いで、昨年度に復興祈念施設について取り組むこととしました。今年度に復興庁の予算で、調査・検討に必要な経費が計上され、国交省で実施します。

公共工事設計労務単価が上昇

公共工事設計労務単価については、藤巻会長からもお話がありました。これまでずっと下降していたものが今回上がっています。

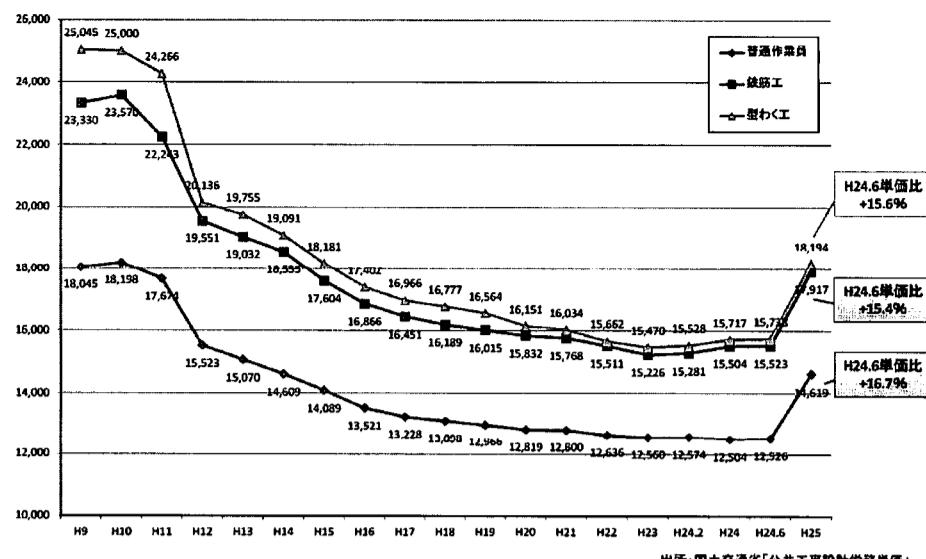
労務単価は実際の現場での価格をサンプル調査し、その平均を次の単価に反映させるものです。ですから、この単価に基づいてきちんと支払われないと、また下降基調になってしまいます。逆により多く支払われれば、上昇基調になるので、そういう方向を期待し、ぜひ、この趣旨を全国各地で周知いただきたいと思います。

ストックの有効活用について

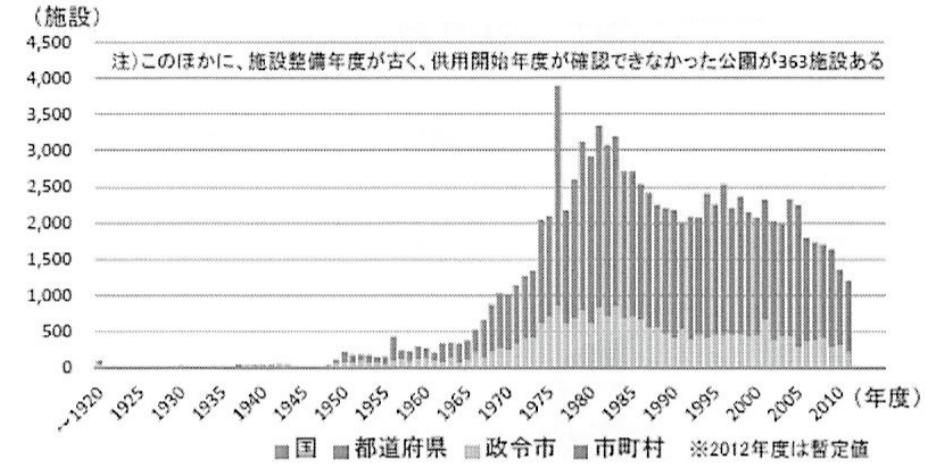
竹子トンネルの事故に代表される社会資本の老朽化は、都市公園においても同様で、供用開始から30年を超えるものが半分以上になってきます。これをいかに改修し、安全に活用していくことが求められています。

一方で、維持管理費が財政事情により厳しくなってきています。こうした中で、ストックの活用については、正しい技術でいかにきちんと残していくかが課題になっています。

これを踏まえ、新しい公園の管理として、設置管理許可制度や指定管理者制度があり、民間事業者より積極的な参画



公共工事設計労務単価の推移



都市公園は1970年代後半から1980年代前半に多くが供用を開始し、30年を経た施設が半数以上になってくる

を図っていますが、公園行政としては、ストックの有効活用の面からも公園緑地のことが分かっている方々に担っていただきたいと思っています。

震災復興に係る公園緑地整備

東日本大震災からの復興に係る公園緑地の整備については、技術的指針を策定・公表し、被災した地方公共団体への技術的支援を行うほか、復興交付金による津波防災緑地の整備では、福島県いわき市で防災緑地と海岸堤防の一体整備を行なっています。

緑地保全と緑化

都市の緑地保全及び緑化推進については、民有地の緑化が大都市の自治体で進められており、規模の大きい公共緑化と異なりますが今後、積極的に取り組んで

いかなければならない分野です。

緑に関する普及啓発では、全国都市緑化フェアなどを毎年開催していますが、経済への波及効果もあり、一層の充実が望まれています。

景観・歴史まちづくり

景観・歴史まちづくりは、地域の活性化であり、さまざまな手法で取り組みが進められており、資料に事例を示したので参考にしていただきたいと思います。

最後に、富士山が世界文化遺産に登録される中、残念な話題ですが、古都・鎌倉については、現在の構成資産では不十分との勧告から、今年6月に推薦を取り下げました。しかし、地元4県市は引き続き登録に取り組む意向であり、国としても必要な支援を行いたいと思います。

協会表彰 49名を讃える

平成25年度の協会表彰は、造園建設功労賞15名、業績表彰26名、勤続精

造園建設功労賞

総支部	支部	氏名	所属
北海道	北海道	阿部 和弘	(株)阿部新香園
東北	青森	山田 良治	(株)山印造園土木
関東・甲信	茨城	稻見不二意	不二造園土木(株)
東京	梅川 真澄		(株)富士植木
神奈川	高橋 更一		小島造園(株)
北陸	新潟	天野二三生	(株)本間造園
中部	静岡	西島弘一郎	(株)愛樹園
近畿	京都	茨木 和幸	(株)茨木春草園
奈良	森本 豊		(有)森本造園
中国	広島	足利 茂	(株)こうこく
四国	高知	下田 敏雄	東洋園芸食品(株)
九州	熊本	伊津野法昭	(株)いづの造園
大分	樋口 貴宣		西ノ洲環境(株)
本部	岩手	米内 吉榮	(株)米内造園
東京	林 輝幸		西武造園(株)

勤続精励表彰

総支部	支部	氏名	所属
関東・甲信	茨城	村上 博史	(株)千本杉
	千葉	鳥海 文弘	京葉緑化工事(株)
北陸	石川	新田 弘	北造園(株)
近畿	滋賀	木村 嘉昭	花文造園土木(株)
京都	木村 衛		植彌加藤造園(株)
大阪	吉田 慎治		(株)庭樹園
四国	徳島	丸山 勝弘	(株)浜造園土木
九州	福岡	矢野 敏之	(株)九州造園



造園建設功労賞受賞の方々



業績表彰受賞の方々



勤続精励表彰受賞の方々

(日造協 通常総会 講演会より抜粋)



高齢化社会における公園のあり方について

一般社団法人 日本公園緑地協会 調査研究部長 霊山 明夫氏

会場にお集まりの皆様は、公園緑地に関わるお仕事をされている方々であり、仕事の役に立つ話をしなければならないとプレッシャーを感じていますが、現状を考えると新たな公園を整備するのは難しく、工事から管理運営にシフトしていくことが必要だと思います。

実際、すでに指定管理者などを行っている方々もいらっしゃると思いますが、その際の企画立案、具体的なプログラムなどに、今回の話が役立てば幸いです。

少子高齢化に対する課題

日本は世界に例を見ない少子高齢化社会を迎えており、利用者層や公園利用ニーズが急激に変化しています。街区公園でも個性や明確なコンセプトが求められるようになっており、こうした社会構造の変化、公園利用者の減少への対応が求められています。

今年5月の読売新聞に、「公園デビュー足遠のく?」と、これまで子育ての一大イベントとされてきたが、遊具が減るなど公園の魅力が減り、屋内施設の使用者が増え、仲間はインターネットで探すようになったとの記事が掲載され、非常に残念なニュースです。維持管理費が減るなど、いろいろな要因があると思いますが、魅力ある公園していく必要があります。

一方で、同じ頃、宮崎日日新聞に、公園に高齢者向け健康遊具が設置された記事が出ています。兵庫県の公園情報を掲載しているホームページでも、健康遊具が検索項目の一つになっており、公園を利用する要素の一つになっています。平成19年度から22年度までの調査では、複合遊具の倍の勢いで、一番多く設置されています。

一方で、子どもを対象とした遊具に安全対策が進められる中、健康遊具での大人の事故もありますが、子どもの事故も増えています。大人向けではありますが、子どもたちも遊んでおり、こうした健康遊具での事故が増えていることが懸念されています。

高齢者向けであっても、公園は誰もが利用する場であり、安全が求められます。また、高齢者対策だけでなく、公園は子育てに貢献できるものであり、少子化に対する公園としての支援策も考えていく必要があります。

施設の老朽化に対する課題

もう一つの課題は、施設の老朽化への対応です。全国に整備された約10万カ所の都市公園のうち、設置後30年以上経過したものが34%に上り、20年後は60%を超える。

しかし、財政状況が厳しい中、多くの行政が維持管理、修繕費用の確保に苦慮しており、維持管理コストの捻出も課題になっています。

公園維持管理費は平成7年度443円であったものが、平成22年度には287円にまで減少しています。

さらに、財政が切迫する中、新たな公有地を取得することが困難になっており、市街地に残存するオープンスペースとして、他部署から転用を迫られる場合も出てきています。

魅力ある公園づくりは、こうした点からも不可欠であり、合わせて、相次ぐ震災で、公園緑地が防災・減災に役立ち、避難場所、復旧・復興の拠点となり、都市の潤い、風格など、さまざまな観点から、公園緑地の存在意義を明示化するこ

とが求められます。

限られた資金の中で、効果的・効率的な公園整備と維持管理を行うためには、ストックマネジメント、アセットマネジメントといった経営の手法を取り入れる必要があります、パークマネージメントによる公園の管理運営が求められます。

国の最近の取り組み

さまざまな課題がある中で、国の最重要政策として、「都市の低炭素化の促進に関する法律」(エコまち法)が施行されています。今後のまちづくりの方向として、日常生活に必要なまちの機能が集積された「コンパクトなまちづくり」を推進していくこととしており、コンパクトなまちづくりを推進・支援するための「コンパクトシティ形成支援事業」のほか、緑地及び樹林地の管理に関する特例や都市公園における非化石エネルギー利用施設の占用許可の特例などの取り組みが行われています。

公園を活用した健康づくり

改めて公園緑地に求められるものを整理すると、生物多様性の確保、防災機能、地域コミュニティの醸成など、さまざまなニーズとともに、健康維持・向上が考えられます。

そこで、公園での健康づくりにより医療費の軽減を図ることができればと、日本公園緑地協会が提案しているものが、「公園を活用したすこやか健康づくり推進事業」です。

この事業は、高齢化社会の課題と地域社会のニーズに対応するとともに、公園の機能を増やし、既存ストックの利活用を促進する意義があり、国民がいきいきと生活できるための健康活動の場・機会の拡大、公園を拠点とした健康活動のネットワーク形成と事業化の推進、公園ストックの活性化という目的があります。

ウォーキングで医療費12%削減

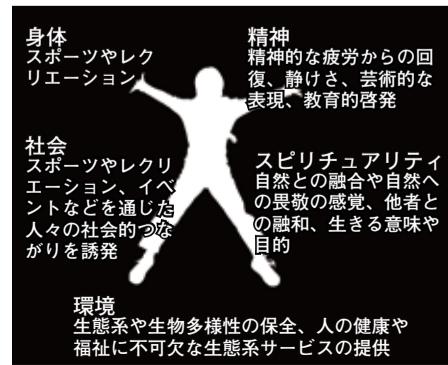
健康活動の効果は、さまざまな研究が行われていますが、東北大学大学院で、1時間以上ウォーキングした場合一人当たり年平均27,216円、約12%の医療費削減効果があると試算されています。

信州大学では、ウォーキング(速歩)について、インターバル速歩を5カ月すれば、体力が20%向上、高血圧、高血糖、肥満が20%改善、医療費が20%削減するとしています。

福岡大学では、ジョギングの効果について、スタミナ、脚力、バランス感覚が改善されるとしています。

京都大学の今西先生に、公園が人の健康に果たす役割をまとめていただいた図で、大きく5つの役割を示しています。

健康運動だけでなく、自然との触れ合いが人の健康に関わっていることもわかってきおり、「自然欠乏障害」という言葉も普及してきています。



これらの研究などを踏まえたものが、健康づくり推進事業で、複数の公園だけでなく、病院や学校、福祉施設などを含めたウォーキング・ネットワークをつくり、健康増進施設等と連携し、公園での健康活動プログラムの実施や人材育成を図っていくこととしています。

さまざまな公園活用事例

時間の関係で、多くの事例を紹介することはできませんが、5つに類型化した8公園の事例を紹介します。

高齢者を中心とした健康づくり活動では、東京都足立区が7カ所の公園で、「パークで筋トレ」事業として、専門指導員やボランティアリーダーにより、周1、2回の健康運動教室をスポーツ振興課の主催で実施。健康相談なども行っています。

また、京都市では、健康づくりセンターに427名が登録。市内8カ所の公園と4カ所の広場で体操教室を保健医療課の担当で実施しています。

地域活性化とにぎわいの創出では、長野県小諸市の大手門公園は、NPOとボランティアによる公園管理(ガーデンカフェ⇒花+食)での町おこしが話題。

新潟県見附市の「みつけイングリッシュガーデン」で、2.2haの公園植栽を地元主婦ら58人のボランティアが年間5,400時間以上活動して管理。その評判が広がって、観光地になっています。

パークマネジメントでは、東京都の野山北・六道山公園が複数団体による管理運営で幅広いニーズに対応。多様な主体が参加できる体制を構築しています。

武蔵野地域の都立公園は、地域の公園

を一括して管理運営する利活用活性化策で、複数公園を一括してプロデュースし、異なる分野がジョイントすることで、多様な分野の活動を可能にしています。

環境教育プログラムでは、愛媛県今治市の今治西部丘陵公園で、脚本家・倉本聰氏を塾長とする富良野自然塾のプログラムを取り入れ、公園を整備。今治自然塾として個性的なプログラムを展開しています。

子育て支援では、新潟県長岡市が全天候型公園施設を備えた千秋が原南公園で、6名程度の保育士が常勤し、雨・雪でも遊べる子育て支援を実施。

群馬県は、観音山ファミリーパークで、妊娠さんからイクメンまで、豊富なプログラムと親同士の交流の場を提供する子育て支援を行っています。

高齢化社会における公園緑地

公園の課題から、公園緑地協会の提案する健康づくり、各地の活用事例を紹介しましたが、最後に高齢化社会における公園緑地は、「高齢者のためではなく、高齢者が活躍できる場」であることを提案したいと思います。

高齢者の公園で活躍が、地域や公園への愛着、生きがいとなれば、個人の身体・精神的健康につながります。そして、これは地域の魅力的な公園、コミュニティの醸成、維持管理コストの低減となり、地域社会の健全性につながります。

高齢者が単なる利用者ではなく、マンパワーを発揮することにより、地域の課題解決にも役立つはず。高齢化社会における公園緑地のさらなる活用を皆さんと考え、実践していきたいと思います。

学会の目・眼・芽 第47回

「景を写す」と「系を写す」、そして「計を画く」

(公社) 日本造園学会幹事・日本大学生物資源科学部准教授 大澤 啓志

毛越寺の州浜、天龍寺の枯滝(龍門瀑)、桂離宮の天橋立…、荒磯や白砂青松、渓谷や滝など、様々な趣のある景色を庭園内に再現する「写景」は日本庭園の本質の一つと言える。

しかし、地球環境問題が顕在化した今日、人も自然も含めた地域の営みの持続性を図るために、見た目としての「景」に加え、その基盤となる生態系の健全さへの配慮も強く求められる時代になりつつある。

そこで「自然の系」である生態系の仕組みを丁寧に読み取り、造るべき園(ソノ=ランドスケープ)に応用するなど様々な試みがなされてきた。

「景」のみならず「系(システム)」をも写すという、エコロジカルなランドスケープ・デザインの発想である。

そこでは、もちろん生態系の完全な模倣ではなく、人の営みとの折り合い(調和と対立の葛藤)に対する先鋭的なアイディアやデザインが常に求められている。

特に生き物の賑わいを考えた場合、特定の敷地のみならず、地域全体を俯瞰した生態的・歴史的・文化的なランドスケープの継承的創造という視点が重要となる。

私としては、「やっとエコロジー屋とデザイン屋が創造的な議論をすることに意義が見出される時代になったのだ」とワクワクしつつ、改めて腕まくりもするのであった。

一方、今後の我が国の人口減少や社会経済の停滞を想定すると、エコロジカルなランドスケープ・デザインとは時間をかけて育むことが本意であるため、すぐには特効薬並みの効果が得られないことから社会的要請の王道には乗らない可能性も強い。

どんなに優れた思想も、はじめは保守多数派に無視されるのが世の常なのである。そこでもう一つ、大事な造園の技が必要となる。

それは、必ずしも施主(例えば行政や住民)に理解されなくとも、100年あるいは1000年の「計(はかりごと)」を書いて、素知らぬ顔をして出来るところから、一手一本駒を進めるしなやかな強さ(したたか)さである。

そのためには、その「計」を一緒に面白がる仲間を見出し、「共謀の楽しみ」を大いに語るべきであろう。

造園の系譜は脈々と連なり、景・系・計の3つのKeiが今日、浮かび上がる。

例えば、もしある一人の造園人が何処かある地域に自らの根を張って、夢と責任を持ってこの3Keiを展開するならば、その地域の景(=ランドスケープ)の気(=活力)はいつかきっと素晴らしいものになるに違いない。

その土地の(本来の意味の)「景気」を良くするために、我々がやるべきことは多いのだ。

ふると
北海道
今が旬！自給率200%の北海道へぜひ
港町「函館」はイカ。一番旬な肉厚の真イカ

今が旬！食料の自給率200%の北海道、どの地域でも色々と特産物があります。じゃがいも、メロン、カキ、カニ、ワイン等あげればキリが有りません。これから北海道の食も今が旬と言わんばかりの食べ物がおいしい時期になります。今回は私の地元函館を紹介したいと思います。



イカの種類は今時期

函館と言えば皆様方もご存じの通り、港街であり今時一番旬なのが“イカ”です。イカは日本南で生まれてから北上します。その途中函館沖に辿り着く頃が、プランクトンやイワシ等の餌を食べてシッカリした肉厚のイカになり美味しいくなるようです。

イカの種類は今時期

(6月～12月)は真イカで、1月～5月はヤリイカです。

真イカは函館山の沖合5km程で漁れます。実際この時期函館山付近の漁港から漁船に乗って、いか釣り体験をすることが出来ます。ベテラン漁師の元その日の最適なポイントに案内してくれてイカの豆知識等を面白おかしくレクチャーしてくれます。釣ったイカはそのまま持ち帰り函館の朝市の提携したお店に持ち込み、刺身に調理して頂くことも出来ます(調理費700円程度)。

また朝市には、イカ釣りが出来る店もあり身近に体験する事も出来ます(1回千円程度)。もちろん、調理して刺身にしてくれます。

他に地元の料理のプロも通う市場が御座います。はこだて自由市場(新

川町)で御座います。こちらでも市場に並んでいるイカをイカ刺しとして出してくれるお店が御座います(1杯800円程度です)。

朝採れたイカ、透き通ったコリコリした甘味のイカどうぞ堪能してみては、忘れられない味になると思います。私も小さい頃から色々な種類の魚を食べてきましたが、やっぱり“イカ刺しかなあー”生姜醤油で食べる!!

次にお勧めは、催事の駅弁大会でも圧倒的な人気を誇る阿部商店の「いかめし」2杯入って500円。函館から車で40分程森町駅構内のキオスクか駅前の柴田商店でのみ販売しております。

折角函館まで来て頂いたなら、日中は市内の異国情緒を感じて頂き、勿論夜には函館山から夜景



を見て頂きたい。

また車で40分程の大沼公園も綺麗です。ぜひとも!!

飛行機で羽田から1時間20分、着くと函館市

高瀬環境緑化株

高瀬 勝彦

人事異動

国土交通省 (7/1付)

▼北陸地方整備局建政部長=柳野良明(都市局公園緑地・景観課緑地環境室長)

日造協 本部事務所 7/8 移転しました

一般社団法人日本造園建設業協会の本



部事務所は、平成25年7月8日に下記の新住所に移転しました。

住所の変更など、よろしくお願ひいたします。なお、郵便番号、電話番号、ファックスの変更はございません。

【新住所】 〒113-0033
東京都文京区本郷三丁目15番2号
本郷二村ビル4階
TEL: 03-5684-0011
FAX: 03-5684-0012

【交通機関】
東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目」2番出口 徒歩5分
都営・大江戸線「本郷三丁目」3番出口 徒歩5分
JR・中央線・総武線「御茶ノ水」 徒歩8分

委員会等の活動

●総務委員会(社会保険未加入対策部会)
標準見積書プラッシュアップ等について審議した。(6/14)

●技術委員会(安全部会)
清掃工場搬入時の注意喚起と周知の為、墨田清掃工場視察(6/14)

事務局の動き

【6月】
1(土)・まちづくり月間～6/30
4(火)・社会保険等未加入対策講習会(近畿総支部)
・技術委員会(調査・開発部会)
・緑の環境デザイン賞表彰式、祝賀会
5(木)・総務委員会(広報活動部会)
6(木)・日本造園建設業厚生年金基金理事会
・日本造園建設業厚生年金基金代議員会
14(金)・総務委員会(社会保険未加入対策部会)
19(木)・国交省公園緑地・景観課との意見交換会
20(木)・社会保険未加入対策講習会(東北総支部)

24(月)・通常総会、講演会、意見交換会
・地域リーダーズ勉強会～6/25

【7月】
2(火)・社会保険等未加入対策講習会(長野県支部)
・総務委員会(広報活動部会)
8(月)・本部事務所移転先で業務開始
・社会保険等未加入対策講習会(沖縄総支部)
9(火)・事業委員会(人材育成部会)
10(水)・国土交通大臣表彰式
・第2回植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
11(木)・社会保険等未加入対策講習会(北陸総支部)
17(木)・第2回植栽基盤診断士認定委員会
18(木)・総務委員会(社会保険未加入対策部会)
19(金)・社会保険等未加入対策講習会(群馬県支部)
22(月)・技術委員会(技能五輪部会)
25(木)・総支部・支部事務局長会議、意見交換会
26(金)・技術委員会(調査・開発部会)
30(火)・国交省と建専連との意見交換会
・アクションプログラム推進等特別委員会
・造園施工管理受験対策講習会(山口市)～8/1

3年に一度開催される瀬戸内国際芸術祭。

2013年は、季節の移り変わりを楽しみ、ゆったりした気持ちで島々を巡ることができるよう、春、夏、秋の3シーズンに分けて開催されています。夏は7月20日～9月1日の44日間開催され、瀬戸内海の島(直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、伊吹島)、高松港・宇野港周辺で開催されます。

世界のグローバル化・効率化・均質化の流れの中で島々の人口は減少し、高齢化が進み、島の固有性は失われつつあります。このような中、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に再び活力を取り戻すため、現代アートの作家や建築家と、そこに暮らす人々との協働によるアートにより新しい発見をもたらし、世界中

の人々を惹きつけ、地域と世界が交わるきっかけになってきています。瀬戸内国際芸術祭は、「民族、芸能、祭り、風土記」という通時性」と「現代美術、建築、演劇という共時性」を交錯させ、瀬戸内海の魅力を世界に発信するプロジェクトです。

小豆島のオリーブ園の中には「オリーブのリーゼント」のモニュメント、坂手港周辺にはビートたけしが構想したプランをヤノベケンジがアレンジして制作した島にある古井戸の底に潜む巨大な地霊的化け物が、時折現れて人々を驚かすという寓話的な彫刻作品が出来てきます。

大島では、ハンセン病の入所者が暮らしていた建物に、陸の上に海底の世界が繰り広げられる「空間絵本」を公開し夏、秋と次第に海の世界を拡げています。

今年の夏はぜひ、瀬戸内海の島々でアートを楽しみながら地域住民の方々との交流を深めてみてはいかがでしょうか。

海の世界を拡げています。

今年の夏はぜひ、瀬戸内海の島々でアートを楽しみながら地域住民の方々との交流を深めてみてはいかがでしょうか。



瀬戸内国際芸術祭2013 アートと島を巡る瀬戸内の四季



古家敏弘
(株)山地宝松園



編集後記 本日の編集会議が、現在の事務所での最後の公式な会議となりました。周りは段ボールが山積みで、今にも倒れできそうです。パーティションなども新しい事務所に持つて行ってしまい、まさに「開かれた会議」を行っています。最後に立ち合えて良かったです。今週末で引越です。この「広報日造協」がお手元に届いた頃には新しい事務所に移転しています。新しい「本郷二村ビル」は表通りに面していますのできつとわかりやすいことでしょう。さようならそしてありがとうございました!!

個人宅…午前10時と午後2時の「ひなたと日影」

New

クラウド連動型 エクステリア・外構・造園・設計用 オーセブン3DCAD「イーキャド」

eE-CAD10

「影シミュレーション」で、ご提案できます。

敷地内に拡がる樹木や塀、車庫などの影。午前8時～午後5時の変化をVR動画で、影シミュレーションできるようになりました。デザイナーがUPする、「eE-CAD10」標準機能です。QRコード(VR動画)をご覧ください。→

iPhoneやiPadでご覧になります。↓↓



動く影シミュレーション↑

動く全体パース↑

描く
見せる
積算



07 オーセブン株式会社

E-mail: inet@o-seven.co.jp

オーセブン

検索

住宅・リフォーム・エクステリア・外構・造園 ポータルサイト「イートコ」

e-TOKO

イートコ

検索

本社・〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目4-14
関西・〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル3F

Tel:048-840-1577 Fax: 048-840-1579
Tel:06-4807-7737 Fax: 06-4807-7727

※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。※iPad,iPhone,iPod touchはApple Inc.の商標です。